

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和5年度事業点検・評価調書

4-Ⅱ-4

4-Ⅱ-4

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	バリアフリー機能の導入
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	4 バリアフリー機能の導入	関連団体	県文化課、佐渡地域振興局(地域振興担当)
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	<p>【事業目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各種施設や説明媒体におけるバリアフリー機能の導入により、様々な来訪者への利便性向上を図る。 <p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 説明媒体に展示や音声ソフトなどのバリアフリー機能を導入する。 <p>【本計画終了時点のゴール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 累積的な目標値は設定できないが、施設等の整備の際にはできるだけバリアフリー機能の導入を図るようにする。 		
これまでの取組実績	<ul style="list-style-type: none"> ○ 史跡整備基本計画において、バリアフリー機能の導入に関する基本的方針を記載し、個別事業の実施前に具体的なバリアフリー機能の導入についての協議・検討を行った。 ○ 令和4年度には、坑内における説明媒体の充実をはかるため、QRコードを読み取ることで音声ガイド(日・英)を聞くことができる「佐渡金銀山音声ナビ」を整備した。 		
事業計画と実績	<p>【R5年度計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 聴覚障がい者への展示映像の配慮として、佐渡金銀山ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」展示用の説明用テキスト、文字ガイドの作成を検討する。 <p>【R5年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 聴覚障がい者への対応として、「きらりうむ佐渡」展示用の説明用テキスト、文字ガイドを作成し、運用に向けた準備を整えた。 		
課題・今後の取組	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 鉱山遺跡という特質上、場所によってはバリアフリー導入が困難な場所もある。バリアフリー機能の代替が可能かどうか、また代替え方法をどのように整備すべきか検討する必要がある。 <p>【今後の取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 史跡整備基本計画に基づき、個別事業の実施前に具体的なバリアフリー機能の導入に関する協議を行う。 		
事業評価	<p>【ゴールに対するR5末の達成】度】◇ 概ね計画通りに進んでいることからB評価とした。 〔 A (B) C 〕</p>		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。